



きすみの

教育目標『ふるさとからつなぐ 夢の種をまき 花開く来住っ子』
校訓【 かしこく やさしく たくましく 】

【夢と希望をもって 力強く 駆ける！】

新春を迎え、皆様に心よりお祝い申し上げます。

昨年は、ご家族の皆様はじめ、多くの方々に、ご支援を賜り、感謝でいっぱいです。

本年も変わらぬご協力のもと、さらなる飛躍を遂げてまいりたいと存じます。

皆様にとっても、充実した一年となりますようお祈り申し上げます。

4月から、教科担任制に取り組み、全職員が児童と関わることによって、幅広い視野で児童個々の情報共有をするとともに、授業や対応の在り方を毎週水曜日に話し合い、本校の教育を前へ進めてきました。また、なかよし班での清掃活動、全校生が一堂に会しての給食など、これらの新しい取り組みは、「時間を守る」「99名一人ひとりが気持ちよく動き、学校を美しくする」「自ら気づき、学び、伝え、繋いで、創る」など着実に成果を上げているように思います。これは、ご家族の皆様のご理解とご協力あってこその成果でもあります。

今年は午年。「前向きなエネルギーに満ち溢れたこの年を午のように力強くかけぬける」と強く願いながら、子どもたちと3学期を迎える。

日常生活の中で自然と目につくことで、身につき、使えるよう、学校の階段には、行動や感情の言葉、廊下には、ことわざが掲示してあります。

午(馬)には、たくさんのことわざがあります。そこで1つ紹介します。

「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ。」

何事も経験してみなくては分からない。挑戦もしないで、あるいは話を聞くこともしないで、あきらめたり、批判したり、評価をしないとわたしはとらえます。例えば、学校は、価値観の違う人の集まりです。その人の本質は、じっくりと話し、付き合ってみなければわかりません。会って、話して、初めて良さがわかることがあります。また、苦手だと思い込み、「無理」「やりたくない」ではなく、何が起こるか分からなからこそ、さらに挑戦を積み重ねたいものです。

ぶらっときすみの理事長様が、顔を合わせるたび口にされます。「来住の子どもは、地域の宝物。子どもたちのために、できることをしたい。」子どもたちも体験活動があるたびに「来住小でよかった。」と言います。愛情をたくさんあちこちで感じる来住っ子だからこそ、『もうちょっと』を挑戦し続け、頑張れるのだと改めて感じました。

今年も引き続き、学校と家庭、地域が連携を図り、目標に向かって挑戦し続けることを願っています。



【戦後80年を振り返り、子どもたちの未来を想像】

令和8年7月1日、来住小学校は、創立135周年を迎えます。開校した当時から今日までの学校教育活動等の歴史の変遷を確認いたしました。

実は、11月に参加した健全育成会でこんな話がありました。「昭和19年に生まれた自身の思い出アルバムは、白黒写真です。その白黒写真がカラー写真になり、今ではスマホで撮影。また、ラジオで情報を入手していた時代が、白黒テレビになり、カラーテレビとなり、今では4Kテレビが

売られています。そして、子どもの頃は、今のように何でも食べる物があった時代ではありません。サツマイモがごちそうでした。今では、いろいろな食べ物があります。それだけではなく、お寿司屋さんに行くと、画面にタッチして注文をし、食べた後の会計は、バーコードをかざして、決済をします。あるいは、スマホで注文したり、会計をしたりするような店も増えています。高齢者にとって、機械操作が苦手で、とても不便で、扱い方が分からぬから一人で行くことはできません。だから、若者を連れて行かないと買い物したり、食べに行ったりができないような時代になってきました。ここ数年は、AIによって大きく社会が変わり、ついていけません。子どもたちが大人になった時は、どんな日本、世界になっているのかと考えると恐ろしいです。」とお話をされました。

わたし自身が生まれた時からのことの懐かしく思い出しても、驚異的なスピードで変化をしていることを感じます。

わたしが小学生の頃、家にはラジオ、テレビ、黒電話がありました。家族でテレビを前に「8時だよ！全員集合！」を見て笑ったり、歌謡曲を聞いては歌ったりしました。また、友達の家の電話番号は全て覚え、声を聴き話をしていました。



平成になり、パソコンや携帯電話が普及し、今ではスマホやAI。いつでも誰でも、あらゆるところから気軽に情報を得たり送ったりすることができます。もちろん電話番号を覚えることは一切ありません。番組も録画し、早送りしながら個で見ることが多くなり寂しく感じます。また、畳にちゃぶ台があり、3世代で毎日、会話をしながら食事をしました。学校が終わると、小学校や保育園の庭、稻を刈った後は田んぼに集まり、缶蹴りやメンコ、野球、ゴム飛びなどをして遅くまで遊んだものです。遅くまで遊びすぎて、よその家で夕食をいただくこともあります。こんな思い出もあります。鍋をもって豆腐を、一升瓶をもって牛乳を買いに行くと、「○ちゃん、気を付けてね」など行き交う人みんなが、名前を言って声をかけてくれました。朝7時、夕方16時になるとその日に釣った新鮮な魚を、漁師の奥さんが、リヤカーで1件1件売りに来ていました。いわゆる家庭重視、地域のコミュニティが盛んでした。

今では、高度化した家電製品や自動車等が大量に普及し、宅配等の物品輸送というサービスも生まれています。その他、コンビニエンスストアの利用、外食、レトルト食品などもあり、私たちの暮らし方や働き方が多様化している中、便利さと快適さ、健康等、個々の満足度を高めるための製品やサービスが増えています。核家族が増え、今ではリモート生活といった柔軟な働き方も進んでいます。デジタル技術とともに環境問題や働き方の見直しなど課題が出る中、昔の暮らし方の移り変わりを振り返ることで、今の課題や未来の展望がより明確になります。それぞれの良さを取り入れながら、時代の変化に柔軟に対応できるよう未来に向け、歴史から学び、技術革新と伝統が融合した新たな生活を模索したいものです。

いつの時代であっても、人の手で、心で、人が人を大切に育てていきたいものです。

1月の主な行事予定

8日（木）3学期始業式	
13日（火）代表委員会	14日（水）地域の方と昔遊び（1・2年）
15日（木）児童朝会	16日（金）追悼集会 クラブ活動（3年見学）
19日（月）校外（防災センター・伝統産業会館）学習（3年）	
22日（木）環境体験学習（3年）	26日（月）校外（県庁・県警）学習（4年）
27日（火）市内プログラミング学習（5・6年）	
29日（木）学習参観・学級懇談会	
30日（金）そろばん大会（3年） 委員会	